

マレーバクの「カナエ」が出産しました！
～国内の種繁殖計画のもと千葉市動物公園では20年ぶりの出産～

千葉市動物公園では、公益社団法人日本動物園水族館協会生物多様性委員会におけるマレーバクの種管理計画に基づき、協会加盟の動物園が相互に協力しながらマレーバクの共同繁殖に取り組んでいます。

このたび、東京都多摩動物公園から千葉市動物公園へ繁殖のために移動してきたマレーバク「カナエ」が出産しましたので、お知らせします。

1 誕生個体

誕生日 令和8年6月22日（月）深夜～早朝にかけて
性別 オス
両親 母親 カナエ 6歳
(令和元年11月27日 東京都多摩動物公園生まれ)
(令和4年3月2日 千葉市動物公園に来園)
父親 ユメタ 19歳
(平成18年7月27日 千葉市動物公園生まれ)

2 現在の様子

母親の「カナエ」は初産ですが、室内で子どもをやさしく見守りながら落ち着いて過ごし、授乳も確認しています。子どもは、移動の際には母親の後をついて歩き、元気に過ごしています。



親子の様子

3 妊娠・出産までの経過

令和7年5月22日、23日に展示場で同居した時に「ユメタ」と「カナエ」で交尾行動を確認しており、約400日の妊娠期間を経ての子どもの誕生となりました。

※千葉市動物公園での出産はユキミ（メス）以来、約20年ぶりとなります。



子どもの様子

4 公開について

母子の状態は安定していますが、展示再開の時期については母子の状態を慎重に見極めた上で、改めてホームページにて公開時期をお伝えします。

<参考>マレーバクについて

- ・分類 奇蹄目（ウマ目）バク科
- ・学名 *Tapirus indicus*
- ・英名 Malayan Tapir
- ・分布 スマトラ島、マレーシア半島、タイ、ミャンマーの熱帯雨林、湿地
- ・生態

頭胴長235～250cm、体高90～105cm、体重260～400kg。バク科の中では最大。体色は黒と白のツートンカラーで、肩から腰、腹部にかけて白い体毛が生えている。幼獣は黒または茶色地に白い縞と斑点があるウリボウで、成長するに従い親と同様な毛色となる。

密林、やぶ地、水辺の草地に単独か親子で暮らし、基本的には夜間に活動する。一般的に低地で生活するが、標高2700mを超える地域で発見されることもある。1産1子で、妊娠期間は390日～400日。

- ・保護状況
レッドリスト 絶滅危惧IB類（EN）
※野生で非常に高い絶滅のリスクに直面していると考えられるもの
ワシントン条約付属書I表
- ・国内のマレーバク飼育の状況（2025年12月末日現在）

飼育園館	飼育頭数		
千葉市動物公園	雄 1頭	雌 1頭	計 2頭
福岡市動物園	雄 1頭	雌 1頭	計 2頭
広島市安佐動物公園	雄 1頭	雌 1頭	計 2頭
神戸どうぶつ王国	雄 1頭		計 1頭
名古屋市東山動植物園	雄 1頭	雌 1頭	計 2頭
静岡市立日本平動物園	雄 2頭	雌 1頭	計 3頭
アドベンチャーワールド	雄 1頭	雌 1頭	計 2頭
長崎バイオパーク	雄 3頭	雌 1頭	計 4頭
愛媛県立とべ動物園	雄 1頭	雌 2頭	計 3頭
東武動物公園	雄 1頭	雌 1頭	計 2頭
東京都多摩動物公園	雄 2頭	雌 4頭	計 6頭
群馬サファリパーク	雄 2頭	雌 1頭	計 3頭
よこはま動物園・横浜市繁殖センター	雄 3頭	雌 2頭	計 5頭
合計	雄20頭	雌17頭	計37頭

※今回誕生の仔を含めると、「雄21頭、雌17頭 計38頭」